

## 令和2年度事業報告

### 概要

我が国では、人口減少・少子高齢化が一段と進み労働人口減少の深刻化により、人手不足分野・現役世代を支える分野への労働力確保の意味から、シルバー人材センターの存在意義が高まっています。国も、高齢者社会対策大綱で、退職後に、臨時的・短期的又は軽易な就業等を希望する高齢者等に地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー事業を推進するとしています。社会の一員として生涯現役で活躍することは、生きがいや、健康の維持増進にも繋がり、センターの果たす役割は重要となってきています。

しかしながら、当シルバー人材センターの現状は、会員の減少、事業実績に於いても契約件数、契約金額は減少し厳しい状況が続いています。さらに新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令された為に、4月、5月の事業実績は大きく減少しました。6月以降は7月の長雨の影響で屋外就業減を除き徐々に改善されていますが、年度当初の落ち込みは終年を通じたものとなりました。

例年以上に厳しい年となりましたが、当シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した仕事や社会貢献活動など地域社会を支えるものとして、地域の皆様、事業所の皆様並びに関係機関の理解を得ながら、会員、役職員が一体となりセンターを運営してまいりました。その中で、地域で買い物に不自由している方に対しての移動スーパー販売事業を10月1日から開始しました。

定例及び臨時理事会を計5回開催。各専門委員会を定期的で開催しました。

事業実績は 12,233万円、労働者派遣事業の受注件数は6件でした。

会員数は3月末現在で241名となり、昨年より会員数は7名の減となり会員減少が続いています。

以下、令和2年度の具体的な取り組みについて報告します。

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

### 就業開拓提供等事業

#### (1) 受託事業(一般)

・就業機会開拓委員会は、自治会公民館を訪問し就業機会の開拓に努めると共に、移動スーパー販売事業の説明及び協力をお願いしました。

就業相談や新たな就業企画を募る投函箱「みんなの声」をセンター入口階段

に設置しました。就業に関するユニークな企画や相談をお待ちしています。

・ワンコインサービス事業は、70歳以上の高齢世帯を対象とした簡単・安全・短時間の作業を実施しました。事業実施は 20件の実績でした。

主な就業分野

- ・個人宅等における庭木の剪定作業や草取り作業
- ・市から委託を受けた市内草刈作業、公園等の清掃・草取り作業
- ・子育て・福祉・家事援助サービス事業
- ・介護予防日常生活支援総合事業
- ・事業所から委託を受けた清掃作業など
- ・着物着付け(七五三、成人式、入・卒業式)サービス事業
- ・親と離れて暮らす子ども等が発注者となる(親孝行支援サービス事業)

令和2年度

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
233人	24,441人	98.3%	114,663千円

## (2) 独自事業

会員の創意と工夫により企画し、臨時的短期的な就業またはその他軽易な業務に係る就業機会を自ら創出する事業を実施しました。

- ・地域の公民館やJAゆめ畑において週2回(1月を除く)、一般家庭の包丁や剪定鋏などの刃物研ぎを実施しました。
- ・いきいき情報センターで週3回一般市民を対象にしたパソコン教室を実施しました。
- ・女性会員による古着等を利用した布小物等の製作をし、センター内で展示販売しているが、来所者も限られ他イベントでの出店も例年のようには叶わず販売は僅かで、会員が集い交歓することで意識が保たれています。
- ・革製品製作に精通した会員の指導により基礎知識を学ぶレザー教室を開催
- ・樹脂粘土を使用した作品作り教室を開催しました。
- ・養蜂事業は生き物であり自然環境にも左右されなど飼育負担はあるが、夢や希望に溢れるユニークな事業であり、2月中旬から巣箱を設置し取組み開始しました。
- ・移動スーパー販売事業

高齢者も含め地域で買い物に苦慮しているという声を聞き、センターとして地域課題の解消を支援したいという思いから、事業を開始しました。

買い物に不便を感じている地域の皆様のところへ、毎週1回市内20箇所の駐車場所を巡回しています。

昨年10月1日からスタートして、まだ日が浅く市民への周知が行き渡らず売上

に苦慮しています。課題は駐車場所が少ないことです。駐車場所を増やし定期的な運行が市民に浸透すれば、利用も増え売上増にも繋がり継続して運営できるのではと思います。少しでも売り上げ増になるよう運営に努めます。

令和2年度

就業実人員	就業延人員	契約金額
19人	845人	3,103千円

## 二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

### 労働者派遣事業

地域社会における就業ニーズと高齢者が求める就業形態の多様化に応えるため臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務の範囲において労働者派遣事業を推進し高齢者の就業機会を提供しました。

労働者派遣事業に係る業務については、連合会と派遣労働契約及び雇用契約について事業相談を行なっています。

太宰府市実施事務所 令和2年度

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
7人	358人日	2.9%	2,102千円

## 三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

### 1 普及啓発事業

#### (1) 広報活動

- ・総務広報委員会で、機関紙「シルバー太宰府」、会員だより「宝満」を発行し情報の発信に努めました。
- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、機関紙、ホームページ、facebook、インスタグラムや太宰府市の広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。
- ・各自治会公民館にポスターの掲示、リーフレットの設置等により広報活動を行いました。
- ・シルバー人材センター普及啓発促進月間にあわせ例年実施していた筑紫地区五市の合同キャラバン隊活動は新型コロナ感染症予防の為中止となりました。

#### (2) 社会参加活動

シルバー事業の理解と周知及び地域社会に少しでも寄与するためボランティア活動を実施しました。地道な取り組みであり素晴らしいことなので、もっとアピールしても良いのではと思います。

- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が政庁跡周辺と市民の森、御笠川遊歩道、政庁通りのゴミ・空き缶の回収などの美化活動を6回実施、延べ77名が参加しました。新型コロナ感染症防止に伴う緊急事態宣言期間や独自に中止したことで例年より参加人数や活動回数が減になりました。
- ・毎年10月をシルバー人材センタークリーンデーとして、17日(土)各地域区の通学路や公園等の清掃・美化活動に78名が参加しました。新型コロナ感染症防止の為に中止した地域も有ります

## 2 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業対策

- ・「安全はすべてに優先する」の理念のもと、高齢者が自らの健康の維持、センターが提供する仕事を安全・適正に遂行できるよう啓発活動を行い安全意識の高揚を図りました。猛暑やコロナ感染症防止の為にマスク着用で熱中症の危険性が高まった状況でしたが、会員の意識がけからも事故の発生件数は昨年同様の13件でした。しかしながら、更なる対策や予防に努めれば避けられた事例もありました。
- ・福岡県連合会主催の安全就業促進大会に3名参加し、優良センターの表彰、安全標語の表彰、事例発表、安全就業宣言の内容を受け当センターでも安全就業に繋がるよう努めました。
- ・例年開催している「安全就業総決起大会」「安全就業促進大会」はいずれも雨天及びコロナ感染症の緊急事態宣言期間中となり中止しました。安全標語の募集は55点の応募があり、中から優秀作品3点を選びました。
- ・安全適正就業委員会で就業現場を巡回し「安全に対する心構え」、「作業前のミーティング」、「作業道具の整理」等の状況など安全作業チェック表によりチェックを行い、安全就業に関するパトロールを5回、延べ22か所のパトロールを実施しました。パトロール結果報告を配布し安全就業に繋がるよう努めました。

### (2) 適正就業の徹底

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、会員の希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。
- ・職種あるいは作業現場毎にグループを編成、打ち合わせの徹底等、ワークシェアリングにより可能な限りローテーション枠を拡大し公平な就業機会の提供を図りました。

### 3 相談事業

#### (1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する方を対象に随時、来訪や電話等により就業相談を行いました。

#### (2) 入会説明会の開催

入会説明会は毎月開催し、希望する就業について個別の面談を行ない入会促進に努めました。なお、説明会以外でも随時希望者に対して入会説明を行っています。

### 4 研修・講習事業

(1) 「高齢者活躍人材育成事業」シニア応援セミナー輝く、女性のつどい in 大野城に会員になっていただきたい方含め3名参加しました。

(2) 県介護福祉士会主催の訪問型生活支援担い手養成研修に会員1名が参加し、訪問型サービス事業所で働くことができる資格を取得しました。

(3) 高齢者家事支援サービスに就業する会員対象に、利用者とのかかわり方において大切なコミュニケーション力向上の為の研修を実施しました。軽度認知症についても学習し今後の支援サービスに生かせるものとなりました。